

# 下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報誌（会議録）

## 令和元年6月27日（木） 第66回（第10期第4回）江東内部河川流域連絡会を開催



会議の様子



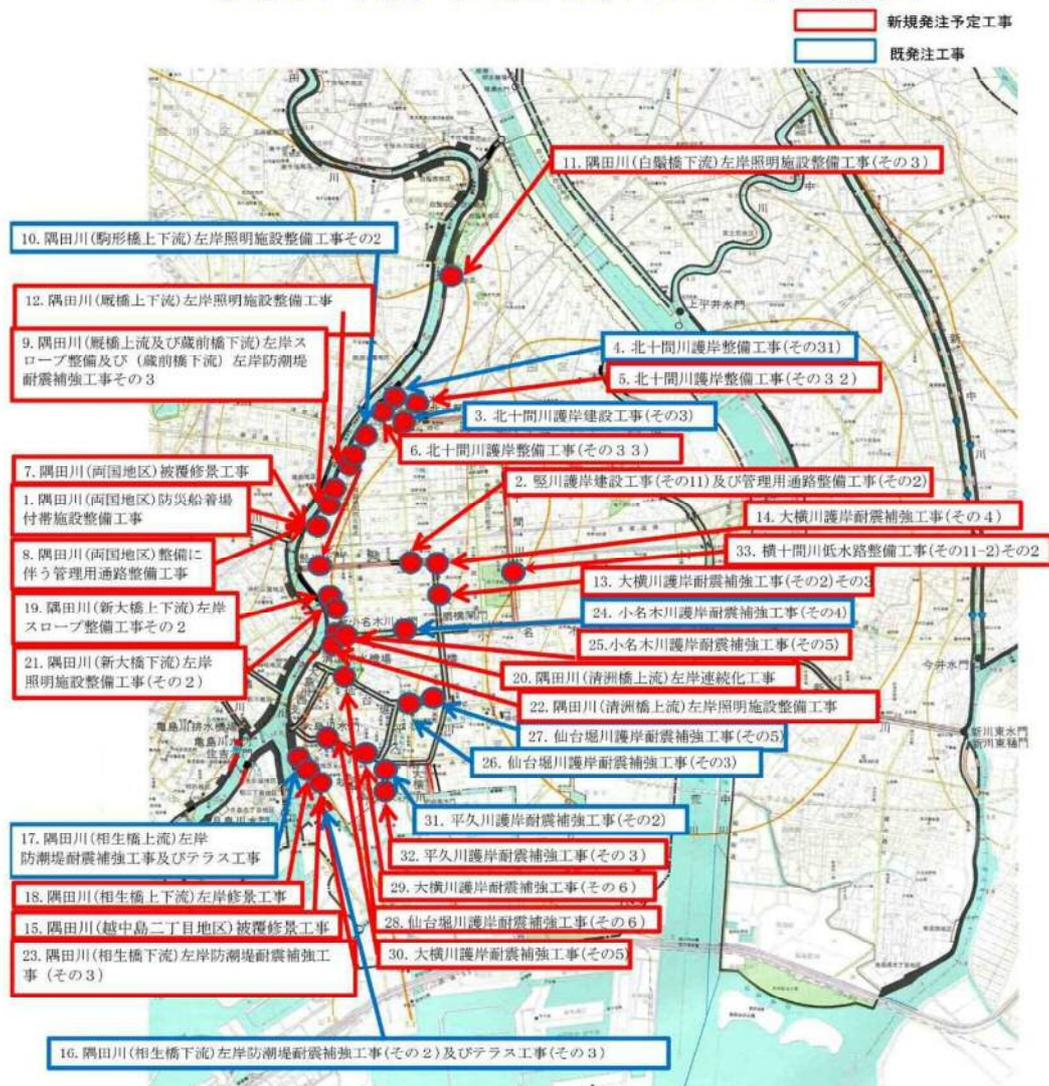
- ・「第66回（第10期第4回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時から4時まで、江戸川区鹿骨区民集会室「こぎく・すいせん」にて開催しました。
- ・都民委員10名、行政委員10名が参加しました。
- ・都民委員、行政委員の紹介、人事異動に伴い座長の選出が行われました。
- ・前回の会議内容の抜粋である『下町 Tomorrow 65号』が事務局より提示されました。
- ・議事に移り、『隅田川（両国地区）防災船着場付帯施設整備工事』をはじめ、令和元年度の江東内部河川工事個所の説明が江東治水事務所からありました。
- ・続いて『猿江橋スロープ撤去工事』など、令和元年度の江東内部河川における整備工事の説明が江東区からありました。
- ・その後、都民委員から情報提供が行われたあと、意見交換を行いました。

## 議題及び情報提供

### 1. 江東内部河川整備事業について（江東治水事務所）

- ・江東治水事務所より、江東内部河川の整備事業について概要説明がありました。

#### 令和元年度 江東内部河川工事箇所図



#### (1) 護岸整備工事（番号1～12番）

- ・隅田川では、白鬚橋から防災船着場付近のテラスの照明施設の整備と両国地区のスロープ堤防の修景工事、厩橋上流と蔵前橋上流などのスロープの整備を行う予定です。
- ・堅川では、水管橋が撤去され、その部分の護岸の整備と管理用通路の整備を行い新堅

川橋から菊川橋までの間の右岸側の管理用通路を人が通れるようにしたいと考えています。

- ・北十間川では、護岸の建設工事と修景工事を予定しています。

## **(2) 護岸耐震補強工事 (番号 13~14 番)**

- ・大横川では、猿江橋から菊川橋、菊柳橋から南辻橋の上流側で耐震補強工事を予定しています。

## **(3) 護岸整備工事 (番号 15~22 番)**

- ・隅田川の越中島二丁目地区では、スーパー堤防に表面被覆し、さらに修景をする工事を今年度と来年度にかけて予定をしています。
- ・隅田川の相生橋上下流付近では、防潮堤の耐震補強工事とテラスの修景工事を今年度から来年度の予定にしています。
- ・隅田川の新大橋上下流では、テラスに降りるため新大橋の上流側、下流側、それぞれ1箇所にもスロープを設置する予定です。また、新大橋橋詰のスロープに照明を付けることを予定しています。
- ・隅田川の清洲橋の橋詰広場からテラスに降りるように階段を設置する予定です。
- ・隅田川の清洲橋の上流から少し小名木川の萬年橋までの区間のテラスに照明を付ける工事を予定しています。

## **(4) 護岸耐震補強工事 (番号 23~33 番)**

- ・隅田川の越中島二丁目地区にある東京海洋大学の船着場の陸側の耐震化を図るため、新しい大きな扉に付け替える工事を今年度予定しています。
- ・小名木川では、西深川橋から東深川橋の間、新小名木水門と高橋の間で護岸耐震補強工事を今年度から発注する予定です。
- ・仙台堀川では、亀久橋と末広橋の間、末広橋の上流側、清澄公園の南側の耐震補強の工事を実施する予定になっています。
- ・大横川の東富橋から練平衛橋までの区間では、地元の観光協会の方々などと施工方法を検討していて、今年度中に工事を開始したいと考えています。
- ・平久川では、時雨橋から平久橋の間、平久水門と時雨橋の間の護岸耐震補強工事を考えています。

## **(5) 護岸整備工事 (番号 33 番)**

- ・横十間川ではクローバー橋の所から北側の大島橋、本村橋の間の右岸側の護岸を整備する予定です。

## 【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆ 6 番の工事期間はどのくらいかかるのか、また、照明等はどうするのか教えてください。
- ◇ 工事期間は予定で、今年度から来年度という表現をしています。ただ番の工事は、3 番の工事が終わらないと出来ないということです。3 番の工事が今年度の最後までかかると聞いていまして、今年度の工事発注が出来れば来年度には工事をしたいと思っています。
- ◇ 河川敷のテラスの照明ですが、江東治水事務所で転落防止とか路面の舗装等の後に、照明を付ける予定になっています。あと照明の他に区で施工するのは樹木です。樹木とベンチのような休憩が出来るものも考えています。
- ◆ 天神橋の船着場はどうなるのか。観光上、地域が期待しているので聞かせてほしい。
- ◇ 今は、おそらく天神橋の船着場は撤去されています。
- ◆ 撤去されたままですか？復帰しないのですか？
- ◇ 今後の予定までは把握はしていませんが、一時的に老朽化等に対応しているとは聞いていません。
- ◆ 天神橋船着場の周辺は、観光名所があるので、それと連携すれば地域の価値が断然上がると思う。そのためにも、船着場を復帰していただきたい。

## 2. 猿江橋スロープ撤去工事ほか2工事について（江東区）



猿江橋スロープ撤去工事



サクラの樹勢回復工事

- ・猿江橋スロープ撤去工事は、江東治水事務所が行う大横川の護岸、耐震護岸工事に伴い、支障となるスロープを撤去するものです。スロープ撤去に伴い、猿江橋から菊川橋までの右岸側は通行止め、行き止まりのようになります。耐震護岸工事の進捗に合わせて、その後江東区がスロープを設置し、今まで通りの通行可能となります。
- ・サクラの樹勢回復工事は、大横川の三石橋から扇橋の区間で土壌改良工と植栽管理工を行います。土壌改良工は、締め固まった土を、コンプレッサー等で土をやわらかくして、土壌改良を行います。植栽管理工は、樹木健康診断の判定で回復の見込みが無

いもの間伐行い、間隔が広がってしまう所に新植を行います。施工時期は、今年度の10月から12月までを予定しています。

## 【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

◆猿江橋のスロープ撤去工事は、スロープをいつ復元するのですか。

◇江東治水の耐震護岸工事の進捗に合わせてスロープを設置するため、工事が終わり、目途が立ち次第、早急に行います。

◆耐震護岸工事の終了予定は、聞いていないのですか？

◇こちらの工事は、今年度から来年度までの2年度をかけての工事を予定しているので、工事が発注できれば来年度末には終わる予定になっています。それが終わり次第、江東区で復旧することになると思います。

◆約1年半から1年9ヶ月ぐらいの間、撤去されたままだということですか。

◇そうなる可能性が高いです。

◆横十間川の本村橋から大島橋の間は、片側しか通行が出来ず、通行量が多くなった関係もあって、通路（木道？）が傷んでいます。補修の方法を考えないと、何度補修しても通路が傷むので、何とかしてもらいたい。また、現在通行できない反対側は、いつ通行できるようになるのですか。

◇老朽化もあり、その辺を踏まえ、今後の予定について検討次第、お知らせしていきたいと思います。

◇33番の工事は、昨年度に発注をかけて昨年度と今年度で工事を終わらせる予定でしたが、工事発注ができませんでした。そのため、護岸の事を今年度に出して、その後、表面の修景工事を来年度出していきたいと考えています。

## 3. 都民委員からの情報提供

### (1) 夜の旧中川・街路灯風景

今日は「街路灯風景」という日常的な風景を発表させていただきます。旧中川の逆井橋の周辺は、街路灯が設置されていて、のどかな風景が展開しています。

真ん中の逆井橋の空間というのは、実はオブジェとして人気が出て来る予見があるそうです。首都高速が出来て以来、川の橋の上を覆っているのが、日本橋と逆井橋です。

逆井橋の灯りは完全に街路灯だけの灯りで、ライトアップしてない灯りです。それが逆にライティングしたような感じで、素敵だなと思いました。



## (2) 第21回 旧中川 灯籠流し

灯籠流しの会場のふれあい橋が出来たのが、平成6年11月です。その時点では、まだ護岸が整備されておらず、「護岸がきれいになったら、ぜひ灯籠流しをやろうじゃないか」という話が持ち上がり、護岸が整備された5年後の平成11年に第1回を開催いたしました。

今年で21回目の「灯籠流し」です。回を追うごとに盛大になり、約2,400個の灯籠を川面に流しています。ぜひ皆さんもご覧になりに来てください。



## (3) 東京運河ごみゼロ カヌーツーリング

『東京運河ごみゼロ カヌーツーリング』は、来年東京オリンピック・パラリンピックが開催され、国内外から東京を訪れる人たちに向けて、おもてなしをする環境美化意識の醸成を目的に、歴史のある江東内部河川、運河を使い、障害の有無にかかわらず、誰でも参加できるカヌーに乗った清掃活動を行うものです。

内容は、クローバー橋からスカイツリーまでの往復6kmをカヌー200艇でツーリングしながらクリーン活動、環境美化を啓発していこうとするものです。パラカヌーの強化選手も出場して、少しインクルーシブな活動にもしていきたいと考えています。

これから行政の手続き等々を進め、イベントですのでオリンピックの方をお呼びしたいと思っており、ここを現在進めているところです。



#### (4) すみだ景観フォーラム特別講座 水都すみだの水のない水辺

景観法が出来て12年ぐらいになると思います。

「景観とは何ぞや」から、墨田区は、景観条例を即制定をさせていただきました。そんな中で景観フォーラムは、「景観って法律でどうなの？」ということから始まったのが発端です。それから毎年景観フォーラム、シンポジウムを開催しています。今回は『水都すみだの水のない水辺』ということで、今年度は暗渠をテーマに特別講座を開催します。

講座の内容は、「水のない水辺」の面白さ、「水のない水辺」の見つけ方「水のある水辺」と「水のない水辺」の関係性など、墨田区の景観資源を分かりやすくレクチャーするものです。

一すみだ景観フォーラム特別講座一  
**水都すみだの水のない水辺**

講師 吉村生氏 × 高山英男氏

2019年 7月7日(日) 午前10:00~11:40

会場：東京都墨田区吾妻橋一丁目23-20 墨田区役所13階 131会議室に変わります

先着30名参加無料

#### (5) 第18回明治丸シンポジウム

7月15日海の日に海洋大学の越中島キャンパスで第18回明治丸シンポジウムが開催されます。今回は「燈台巡回を通じて近代日本を支えた明治丸」というテーマで講演が行われます。

近代日本を支えた明治丸  
 燈台巡回を通じて

令和元年7月15日(月/祝・海の日) 13:00~16:30

東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館2階講堂

入場無料 事前予約不要

百年目の航海

明治丸の航海

明治丸の航海

明治丸は145年前前に燈台巡回船として建造された経緯の中で「明治丸の燈台巡回の軌跡」と「灯台の魅力と灯台守のいた時代」、「灯台の歴史と取り巻く変化」、「海難防止技術と燈台の役割」を講演していただくのが、今回のシンポジウムの内容です。

実は小笠原の領有権を主張出来たのは、明治丸がイギリスの船より2日早く着いたからで、島の酋長が、日本に領有される決定をする時に明治丸のダイニングで決めたという話を聞き、何か彷彿とさせるようなものです。中の内装も素晴らしいですし、ぜひこ

れを機会に関心を持って聞きにいらしていただければと思います。

また、海洋大学では、『100年目の航海』と題して、日米修好通商条約の100周年に関する展示が行われています。

#### 4. 事務局からの報告

事務局から河川愛護月間に行われる行の中から2点の行事を紹介しました。

一つ目は、東京の川を考えるシンポジウム2019です。7月30日13時半から都庁の都民ホールで「河川における防災対策のあり方」というテーマでの講演と東京都からの取り組みの紹介を情報として提供する内容となっています。

二つ目は、『川を歩こう旧中川コース』で旧中川沿いを我々東京都職員一緒に歩いて、川沿いをご覧くださいというイベントになっています。こちらは例年6月頃実施をしていましたが、近年気温上昇傾向にあり、参加いただく皆様の安全面等を考慮して、今年は開催時期を10月12日土曜日に開催をいたします。こちらのお知らせや応募方法は、8月号の東京都広報、墨田区、江東区、江戸川区の3区の区報に同様の内容の記事を掲載していただくように現在調整しております。こちらにもふるってご応募いただければと思っています。



#### 流域連絡会の今後の予定

次回は10月、先ほどお話した『川を歩こう』が10月12日を予定していますので、2週ぐらい後の下旬の予定です。

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：松尾、川上

TEL：~~03-5875-1565~~

令和元年9月より以下の番号に変わりました。  
TEL 03-3692-4945

Email-address: S0200225@section.metro.tokyo.jp